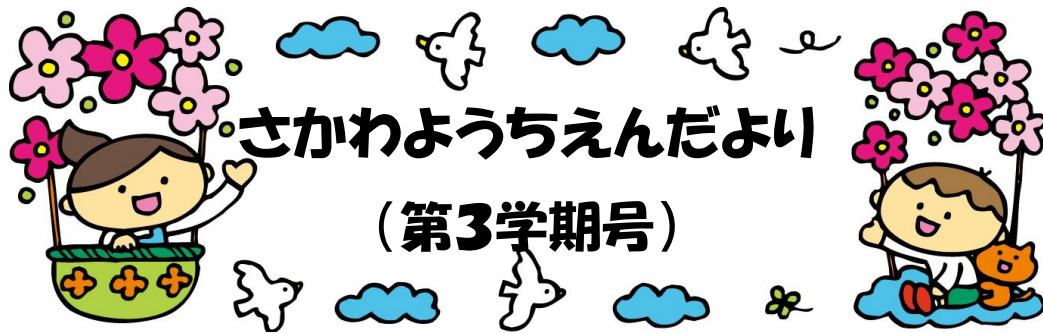




さかわようちえんだより

(第3学期号)

令和6年3月14日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 古木 美貴

ほし組が植えた水仙が次々に花を咲かせ始めました。花粉症で目や鼻がかゆい様子の中でも、卒園までの時間を惜しむように、毎日戸外に出て友達と楽しそうに遊ぶ様子、体を思いっきり動かして遊ぶ様子に今まで見られなかったほどの活気を感じています。登園時も自信に満ち溢れた表情になってきました。ほし組との会話の中で、小学校へ行くことにとても意欲的で、楽しみにしていることが分かります。その前向きな意欲や姿は、とても誇らしく、職員一同が願った姿です。保護者の皆様、幼稚園へのご理解とご協力を本当にありがとうございました。卒園後も、子どもたちと保護者の皆さまを応援しています♪

酒匂幼稚園で目指していく子ども像

健やかな心と体の子

教師との信頼関係の中、安心して自分の気持ちを伝えることができました。遊びのルールも言い合いをしながら決め、遊びをすすめることができました。



考えたことを実行する子

毎日、材料を探して何かをつくっていました。さくら組を呼んでお店屋さんをした後も、「まだ遊びたい!」とクラスの中で役を交代して遊びました。「どうする?」「どうしたい?」みんなでの話し合いが大切です。



助け合う子

友達との関わりがとても増えました。自然に教え合う様子、「大丈夫?」と声を掛ける様子、微笑ましい様子がたくさんでした。『助けてほしい』気持ちを伝えられ、『助けてあげよう』という気持ちをちゃんと行動に出せるって素敵です☆



お楽しみランチ with 園長

ほし組3名ずつ、『おきゃくさまの部屋』で一緒にランチタイムを過ごしました。ソファーに座ると「フカフカ〜♪」とぴょんぴょん跳ねるのは、申し合わせたようにほぼ全員！「あ、この部屋来たことある」「わあ、懐かしい〜」とお家の方と来た日のことを覚えている子もいました。私との合作でプラバンのキーホルダーづくりを提案すると、今まで見たことないような真剣な表情で色塗りをしていました。「あ、黒がないな…」「はい、こっちにあるよ」「（ペン）出ないなあ」「これはどう？」と自然な子どもたちの会話を聞いているだけで幸せな時間でした。トースターに入れると、プラスチックの面白い動きに「わあ〜♡」「あ、あ、失敗？」と子どもたちも面白い反応をしてくれました。みんなとの思い出づくりをさせてもらって嬉しかったです。ほし組のみんな、ありがとう。



さくら組さんにお祝いしてもらいました



さくら組さんが『お別れ会』をしてくれました。一緒に○×ゲームをしたり、歌を歌ったり…運動会で踊った『かんしゃでよっしゃ！』を完璧にマスターしたさくら組と、久しぶりでも振りを忘れていないほし組とのコラボは見ごたえ抜群でした。掛け声が今までで一番大きくて揃っていて、びっくり！！最後には、コサージュのプレゼントをもらい、ほし組からもお礼を渡しました。ほし組になって、収穫した野菜をお裾分けしたり、お店屋さんと呼んだり、素敵なほし組でした☆また一緒に遊んでくださいね。

就学に向けて



今年度は、酒匂小学校の1年生、富士見小学校の5年生と交流をすることができました。学校の先生から「1年生なりにお兄さんお姉さんの自覚が生まれた」「5年生は次に最上学年になる気持ちが芽生えてきたようだ」との話をいただきました。ほし組は小学校に行く楽しみが出てきたのではないのでしょうか？小学校でも幼稚園で取り組んできた『おだわらっ子の約束』が基本です。左の写真は酒匂小学校の廊下に貼ってあった掲示です。幼稚園よりも登校が早く、給食は遅くなります。朝ご飯をしっかりと食べましょうね！それから、挨拶や返事はコミュニケーションの上で大事です。意思表示ができるように、家庭でも大事にしてください。

ほし組さん、みんなのことが大好きです。素敵な1年生になってください☆